

<p>①設定 目標</p>	<p>～つくる～ 学ぶ喜びを感じる魅力ある授業の創造</p>
<p>②本 年 度 の 取 り 組 み 状 況</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対応の状況が続いて3年目となった。 小規模校であることが利点となるとともに、教育活動の制限が徐々に緩和されてきていることもあり、ほとんどの教育活動が中止や大幅な変更なく、実施することができた。</p> <p>&lt;つきたい力&gt; * どんな変化にも柔軟に対応できる基礎学力 * 自ら主体的に学ぶ姿勢 * 他の考えを聞き、自分の考えを深め、表現する力</p> <p>&lt;校内研究テーマ&gt; 「ことば力」でつくりあげる集団の育成 ～自尊感情を高め合う集団をめざして～</p> <p>&lt;目標達成のための主な取り組み&gt; <b>○朝タイムを活用した学力充実の取り組み [1～4年]</b> 月 朝読書 水 朝国語 ※今年度から校内研究テーマにそった学習を統一して実施 木 朝算数 (どんぐり問題：文章を読み自分なりの絵や図に描いて問題を解くことで、答えを出すために考える過程を大切にしたい問題に取り組んでいる)</p> <p>●朝国語の取り組みについて 【児童の課題】 ・書くことへの抵抗がある。 ・日記や作文が嫌いな児童が多い。 ・語彙が少ない。 ・多くの表現方法を知らない。</p> <p>上記の課題を解消する一つの取り組みとして、今年度から水曜日に朝国語を実施している。内容は、全学年統一の内容で、例えば、原因と結果を記述する「だから作文」、先に述べたことから予想される以外の結果を示す「しかし作文」、写真を見てふきだしをうめる課題を実施。 例：だから作文 朝から天気がいい。だから、( ) しかし作文 今日はまちにまった遠足だ。しかし ( )</p> <p><b>○校内研究の成果の発信</b> ●研究授業 (9月28日) 【学年・教科・授業者】4年 国語科 川本千恵 ●スクールエンパワーメント推進事業 全学年公開授業 (10月28日) 【研究テーマ】 主体的に学ぶ姿勢をはぐくむ授業の実践 【重点取り組み】 ・基礎基本の定着に向けた取り組み ・各教科の学習を横断的に学べるカリキュラムマネジメント 【取り組み方法】 ・教科横断的な視点からの単元構想で、子どもたちが意欲的に学べる授業づくりを実践する ・課題の解決に向けて、主体的・対話的な話し合いの場面を設定する</p>

- ・言語活動を取り入れ、自らの学びの成果や過程が振り返られるようにすることで言語能力を育む

●研究授業（1月26日）

【学年・教科・授業者】3年 国語科 本間大資

【事後研修・指導助言】佐久間敦史 准教授（大阪教育大学）

○5・6年 教科担任制

深い教材研究や教員の専門性を発揮し、子どもたちの学習意欲と学力の向上を図ること、複数の教員が子どもに関わることで、問題の早期発見につなげ、生活指導に役立てること、小中学校間の連携を推進し、小学校から中学校への円滑な接続を図ることをねらい、令和4年度から5・6年に教科担任制を導入した。

社会、算数、理科、英語、音楽、家庭、体育は教科を担当する教員が5・6年生の授業を受け持つ体制をとった。

○東能勢小学校スタンダード（授業規律）

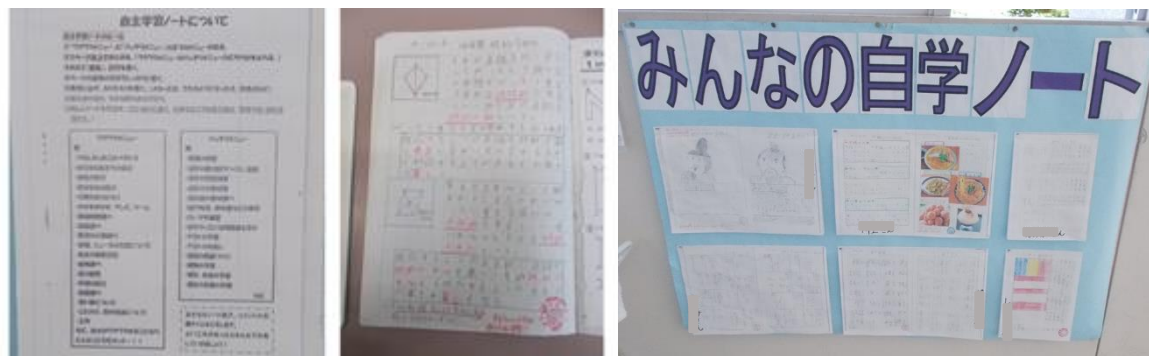
授業に向かう基本の姿を教員間で確認し、児童と共有することで授業規律を整え、学習に向かう意欲を高める取り組みを行っている。

【例】

- ・児童も教師も時間を守っている
- ・チャイムまでに授業の準備ができています
- ・机に必要なもの以外を置いていない
- ・机にらくがきしない
- ・あいさつをしている
- ・発言の際、名前をよばれたら「はい」と返事をしている
- ・必要な時以外の離席はない
- ・ノートを書くときは下敷きを敷いている（コンパス等使う時以外）
- ・上ぐつのかかとをふまずに正しく履いている
- ・おしりをつけて、いすに座っている

○自学自習

学校で学習したことが自分の力になっているか確認するため、また、学習したことを活かしてさらに学習を深めるために、今年度から全学年で自学自習に取り組んでいる。そして、自学ノートを学級通信で紹介したり、教室で掲示することで、子どもたちのがんばりを認め、さらなる学習意欲の向上につなげている。



○校内研修

- 5月19日 「アクティブ・ラーニングとカリキュラムマネジメント」
- 7月21日 「育てたい力」に向けて学びをつなげる単元構想
- 8月26日 単元配列表について
- 9月20日 4年 研究授業事前研究会
- 1月11日 道徳の評価について

○相互授業参観「見に来て」週間」

【目的】

- ・子どもたちが主体的・意欲的に学べる授業づくりの実践を進める
- ・教師の授業力を向上させる

【実施時期】7月、9月、2月

○とよのチャレンジ（12月6日）

子どもたちの学力・生活面を把握分析し、翌年度の各学年の指導・授業内容に反映させていくことにより、9年間にわたり継続的な成長を進めていくため令和3年から豊能町全校で実施。

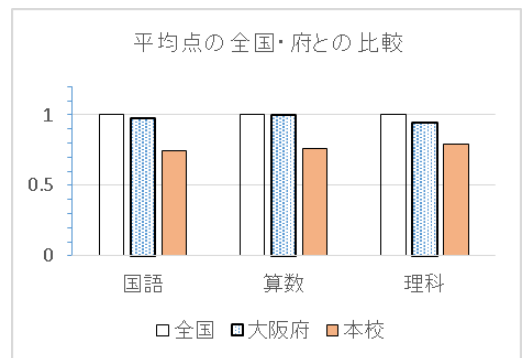
○通知表の評価方法にかかる資料を作成・配付

今年度から通知表の評価の視点が分かるように教科ごとに要点をまとめた一覧を作成し、毎学期、通知表とともに配付した。

③学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容

<全国学習・学力状況調査の結果より>（令和4年4月19日全国の小学校6年生対象に実施）

右のグラフは調査教科の平均正答率について全国を1として、大阪府と本校の割合を表したものである。国語、算数、理科とも全国・大阪府を下回っている。



3教科とも記述問題では無回答率が高い。国語では漢字の記述や条件に合わせて文章を書く問題（○字以上□字以内にまとめて書く・文章中の言葉や文を取り上げて書くなど）の無回答率が高く、正答率が低い。算数では理由や求め方を言葉で書く問題の無回答率が高い。生活体験から正答を導き出せると考えられる2つの数量の関係について考察する問題（右参照）は全国よりも正答率が高かった。理科では実験結果を予想する問題やグラフを読み取り考察する問題の無回答率が高かった。鏡を使った体験的な活動を実際に行い、楽しく学ぶ経験をもとに4択の中から選択する問題は、正答率が全国と比較して高かった。

算数

2つの数量の関係について考察する問題

(3) りんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500mLあります。この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250mLになります。

250mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250mLは、500mLの $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、

上の○にあてはまる文を、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

基礎基本の学習の定着を図り、主体的に学習へ向かう意欲を高めることをねらいとして、授業はもとより、朝学習、自学自習の取り組みを進めていく。

<学校教育自己診断の結果より>

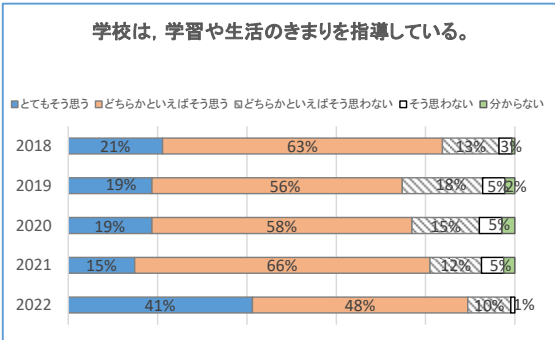
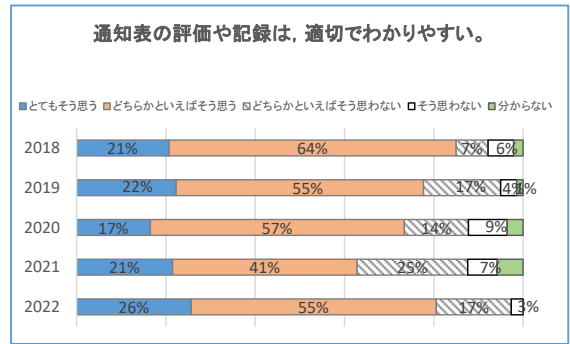
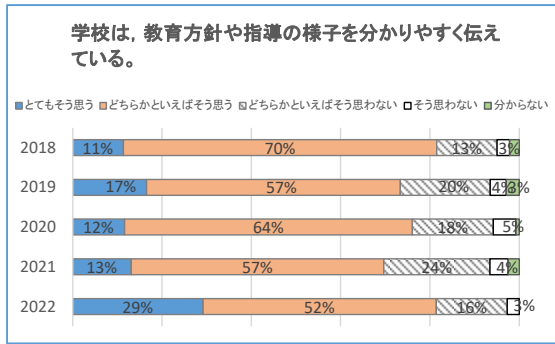
- ※（今年度←昨年度の肯定的な回答の数値）  
肯定的な回答：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値
- ※構成比は端数処理の都合上、合計は必ずしも100%とはなりません
- ※令和4年度から「分からない」という選択肢をなくしています

保護者アンケートの結果において、特に学力向上に関わる項目について肯定的な回答は下のとおりである。

- 「子どもは授業がわかりやすいといっている。」（84%〔新規項目〕）
- 「学校は、教育方針や指導の様子を分かりやすく伝えている。」（81%←70%）〔下図〕
- 「通知表の評価や記録は、適切でわかりやすい。」（81%←62%）〔下図〕

⇒通知表の評価方法にかかる資料の作成を評価いただけているのではないかと考える。引き続き資料の添付を行う。

「学校は、学習や生活のきまりを指導している。」(89%←81%)〔下図〕



児童アンケートの結果において、同じく肯定的な回答は下のとおりである。

「算数の授業は、よくわかる。」(85%←83%)〔下図〕

⇒昨年より肯定的な回答は微増しているが、「とても思う」の割合が微減している。

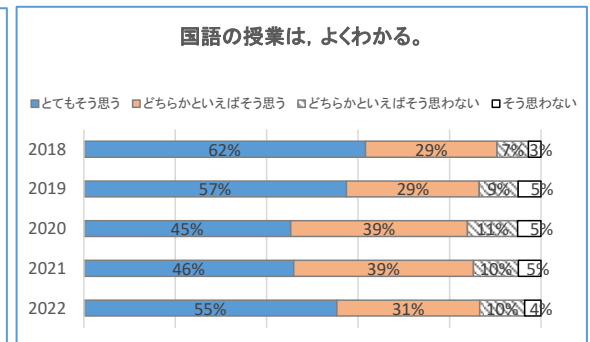
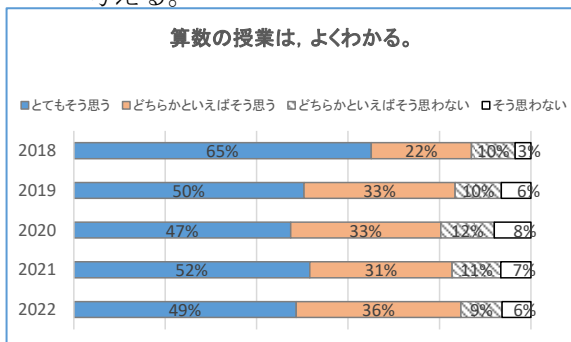
「国語の授業は、よくわかる。」(86%←85%)〔下図〕

⇒肯定的な回答が4%増加するとともに、「とても思う」の割合が9%増加している。

「通知表(あゆみ)で、自分のがんばりがよくわかる。」(86%←83%)

「先生たちは、学習のルールや生活のきまりを教えてくれる。」(93%←90%)

⇒肯定的な回答が3%増加するとともに、「とても思う」の割合が13%増加している。「東能勢小学校スタンダード」を基に指導を進めることで共通した対応ができると考える。

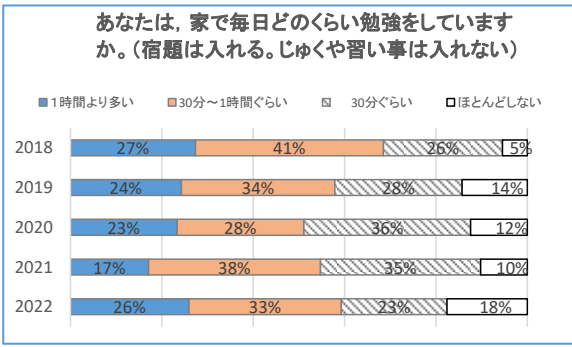
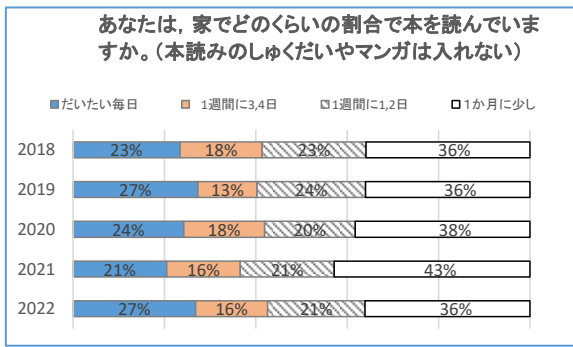


家庭での学習にどのくらい取り組んでいるかの項目についての児童のアンケート結果は下図のとおりである。

自学自習の取り組みを定着させることで、家庭での自主的な学習につながっていくことをめざしている。家庭で子どもが学習に取り組んでいることに対し、自己肯定感の高まるような声掛けを積極的にしていただくことで、学習意欲の向上につなげていきたい。

家庭学習の目安時間としては、学年×10分としており、発達段階に合わせ、以下のような姿をめざす。

- 1・2年 → 学校の宿題ができる。家庭でも学習しようという気持ちももてる。
- 3・4年 → 学校の宿題が確実にできる。宿題以外にも少しずつ家庭学習ができる。
- 5・6年 → 学校の宿題が確実にできる。自主的な家庭学習ができる。



④ 学校関係者評価 (学校協議会等からの提言)

(○) 評価できる点 (●) 課題とする点 (☆) 提言など

- 設定目標に対する子どもたちの問題点が明確に出ており、それに対する取り組みもきめ細やかに設定されており、小学校の意図、努力を感じる。昨年もこの課題はあげられており、昨年も実行されていた算数のどんぐり問題は大変良いと方法だと思う。
- その点からも取り組みの一つである、【自主学習】には大いに期待したい。都会には無い豊能町にたくさんあるものから刺激をうけとって欲しい。
- 算数、国語の授業がよくわかると肯定的にとらえている児童が8割以上いることは評価できる。
- 通知表の評価方法にかかる資料の作成によりわかりやすい評価が行えていることは評価できる。
- 朝タイム、教科担任制、校内研修等学力向上に向け多くの取り組みをされていることは評価できる。
- 朝タイムの活用は評価できる。
- 授業規律があることで、始めと終わりのけじめがわかり集中力や学習の意欲が高められると思いました。
- 様々な新しい取り組みがなされておりそれが継続されていくことを願います。

- 5%程度授業がわかりにくいと回答している子どもたちへの丁寧な指導が望まれる。
- 記述問題の回答率が低いのは。読書時間の少なさが影響していると思うので対策が必要だと思う。
- 家庭学習時間の少なさが気になり、保護者との連携がさらに必要だと思う。
- 家庭学習の目安時間(学年×10分)を基本に丁寧に書かせる事が大事だと思う。丁寧に書かせる事で時間も増え、見る力もつき、集中力も増すのではと思う。
- 学力調査が3教科とも全国、大阪府を下回っているのが残念である。記述問題が苦手のようなので、文章を書く(考えや思いをまとめる)場面を増やしてほしい。
- 勉強をほとんどしない子どもが増えているのが気がかり。

☆ 自主的な家庭学習に向けて自学自習を進めていることは、中・後期につながっていくと考えられる。今後も継続されたい。また、どのようにしたらわからない児童にもわかるように具体的に取り組み方を教えてあげてほしい。

☆ 表現方法の乏しさ、語彙力の少なさからくる問題は「書くこと」「発言すること」に大きな影響を与え、全ての教科の読解力の弱さにつながっていくと思われる。塾の先生をされている方の受売りだが、『最近の児童には想像力の乏しさを感じる』とのこと。読書量が足りないというよりは、文章に対し想像し自分の中に落とし込む力が足りない。この問題点にはこの「想像力」の足りなさも影響しているように思う。想像力を育むためには、いわゆる勉学の教科からばかりではなく、副教科などから得るものも多いのかもしれない。絵や音楽、家庭科などの五感を使うものからの刺激はつながっていく。

☆ 自学自習の取り組みだけでなく好きなことや関心のあることを教室で掲示したりしてもらえると主体的な学習意欲に繋がるのではないかと思う。

<p>①設定 目標</p>	<p>～はぐくむ～ しなやかな心と体の育成</p>
<p>②本 年 度 の 取 り 組 み 状 況</p>	<p>&lt;育てたい資質&gt;          *自己を大切に、他者を思いやり、互いの個性や違いを尊重する心          *多面的・多角的に考え多様性を生きぬく豊かな人間性</p> <p>&lt;校内研究テーマ&gt;          「ことば力」でつくりあげる集団の育成          ～自尊感情を高め合う集団をめざして～</p> <p>&lt;目標達成のための主な取り組み&gt;</p> <p><u>○人権参観 [1～4年] (11月18日)</u></p> <p>●各学年の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年 自分の特徴や良さを見つけ、それを大切にしようとする心情を育てるねらいの道徳教材を使って、個性の伸長について学習</li> <li>・2年 自分の気持ちを知り伝えること、友達の気持ちを知り伝えることを通して、みんなが笑顔で過ごせるために必要なことを学習</li> <li>・3年 子どもの権利条約の内容について学習しながら、自分たちが過ごすクラス、友だちとの関わり方について学習</li> <li>・4年 「本当の友達」とはどのような友達なのかを考え、友達を信頼し、思いやる気持ちを育てる学習</li> </ul> <p><u>○朝タイムを活用した集団づくり [1～4年]</u></p> <p>火 児童朝会 (不定期) 委員会活動の報告などを行う          金 朝レク (クラスで一緒に何をして遊ぶかを決めるところから決め、活動の振り返りを行うことを通して集団づくりを進める)</p> <p><u>○ゲストティーチャーによる授業など</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●習字 [3～6年] (5月17日、7月11日、9月9日、11月11日、2月8日、3月8日) 【講師】新貝廣二さん</li> <li>●租税教室 [6年] (6月3日) 【講師】豊能税務署の方</li> <li>●非行防止教室 [5年] (6月7日) 【講師】池田少年サポートセンターの方</li> <li>●非行防止教室 [6年] (6月9日) 【講師】豊能警察署の方</li> <li>●食育 [5年] (6月21日) 【講師】JA 大阪北部の方</li> <li>●豊中高校能勢分校の留学生と交流 [1～4年] (7月13日) 【留学生】アブリルさん (スペイン)</li> <li>●余野川を調べよう [4年] (7月13日) 【講師】牛尾巧さん (環境省環境カウンセラー)、牛尾のり子さん (川西いきもの研究会) 【内容】余野川の生態と環境について調べた。</li> <li>●車イス体験学習 [4年] (9月12日) 【講師】豊能町社会福祉協議会の方 【内容】車イス体験を通して利用者への理解を深め、みんなが過ごしやすい社会をめざす思いを育むことを目的に、バリアフリーや自身に取り組めることについて考え</li> </ul>

た。

- 「人権の花」運動〔1・2・5・6年〕（9月22日、10月20日）  
【講師】人権擁護委員の方
- 芸術鑑賞 天満のとらやん〔全学年〕（11月16日）  
【公演者】劇団コーロさん
- キャリア教育〔6年〕  
【講師】田畑晴菜さん（サッカー選手）（11月24日）  
大西香菜子さん（染織家）（12月19日）  
北窓優太さん（イラストレーター）（2月24日）
- 認知症サポーター養成講座〔4年〕（2月2日）  
【講師】社会福祉協議会の方、地域包括支援センターの方、豊能町認知症キャラバン・メイトの方
- 食育〔5年〕（3学期）  
【講師】豊能町食生活改善推進員の方

#### ○他校との交流

- 能勢ささゆり学園〔4年〕（11月4日）  
事前に五七五の紹介文を班ごとに考え、イラストとともに、「ひ・が・し・の・せ」のあいうえお作文での学校紹介をしました。ひまわりの種をプレゼントした。
- 東ときわ台小〔3年〕（10月25日、12月13日）  
全体でフルーツバスケットなどのゲームをしたり、グループに分かれサイコロトークで自己紹介をし、交流を図った。
- 箕面市立南小学校〔5年〕  
5年生が育てたお米を稲穂の状態ですべて南小学校5年生に提供。

#### ○クラブ活動〔4～6年〕

- 小学校校舎で4～6年が「ハンドメイド&アート」「コンピュータ」「バドミントン」「卓球」「屋外スポーツ」に分かれ、クラブ活動を行った。

#### ○委員会活動

- 落書き消し隊〔児童会〕
- あいさつ大会〔児童会〕
- 草ぬき大会〔健康美化委員会〕（9月29日・30日）  
運動会に向けた運動場整備の一環で開催されました。参加は自由参加にもかかわらず、たくさんの児童が参加し、意欲的に草ぬきをしていた。
- リレー大会〔健康美化委員会〕
- シューズインボックス スタンプイベント〔児童会〕
- イラストコンテスト〔児童会〕
- 児童会生徒会交流会〔児童会〕

#### ○校外学習、宿泊学習

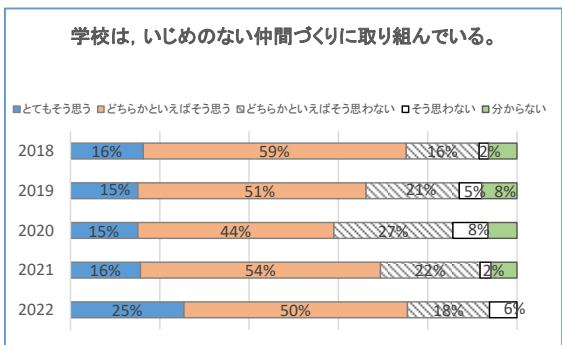
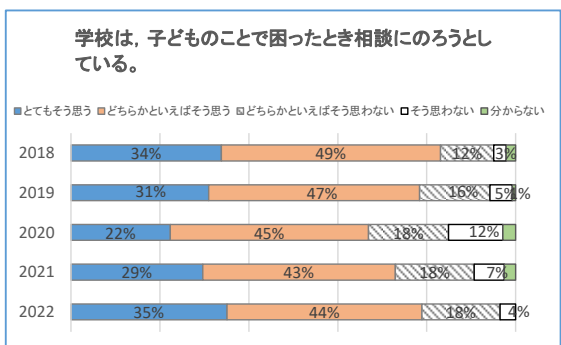
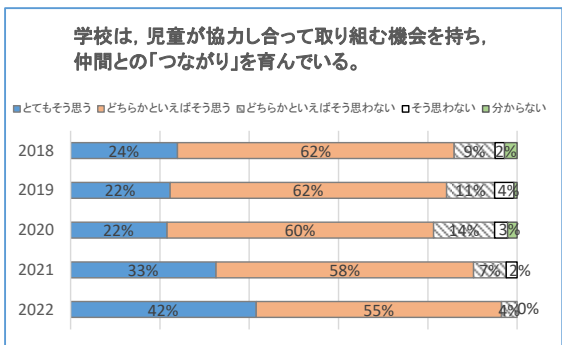
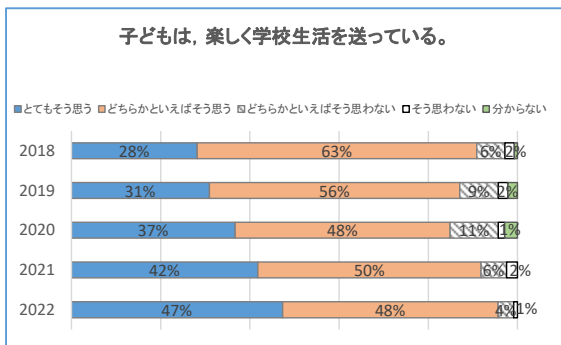
- 1・2年 神戸どうぶつ王国
- 3・4年 大阪市立科学館
- 5年 国立民族学博物館、湖畔学習（びわ湖）
- 6年 大阪城公演・ピースおおさか大阪国際センター、修学旅行（広島）

＜学校教育自己診断の結果より＞

※（今年度←昨年度の肯定的な回答の数値）  
 肯定的な回答：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値  
 ※構成比は端数処理の都合上、合計は必ずしも100%とはなりません  
 ※令和4年度から「分からない」という選択肢をなくしています

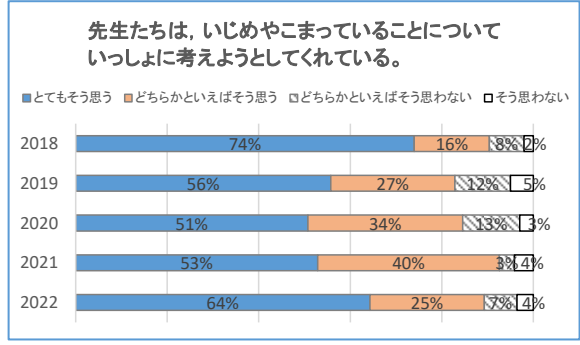
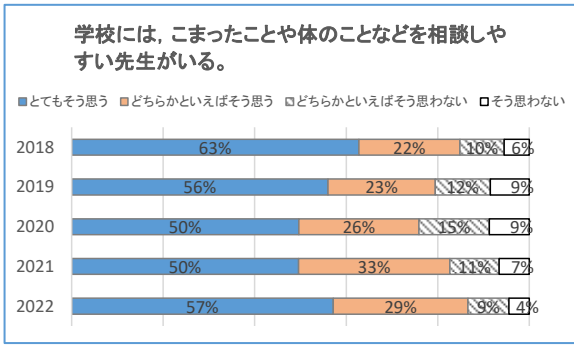
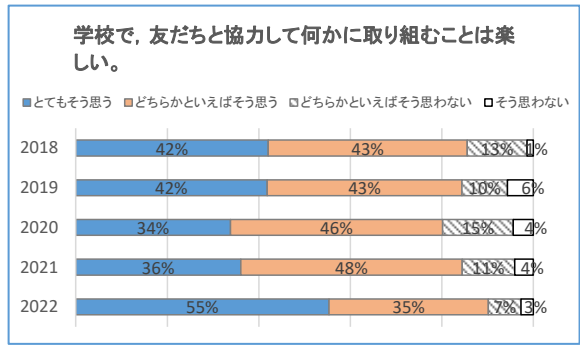
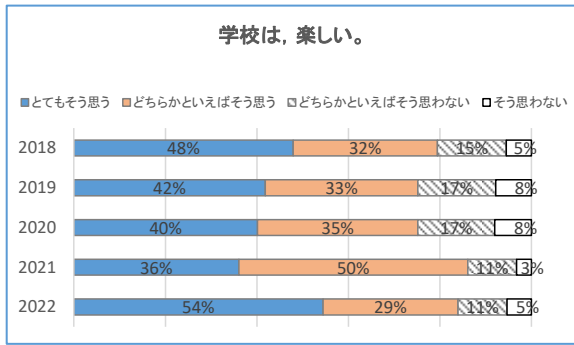
保護者アンケートの結果において、特に学力向上に関わる項目について肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）は下のとおりである。

「子どもは、楽しく学校生活を送っている。」（95%←92%）〔下図〕  
 ⇒「とてもそう思う」が増加傾向にあるが、各種取り組みをつうじて、さらに向上をめざす。  
 「学校は、児童が協力し合って取り組む機会を持ち、仲間との「つながり」を育んでいる。」（97%←91%）〔下図〕  
 「学校は、子どものことで困ったとき相談にのろうとしている。」（79%←72%）〔下図〕  
 「学校は、いじめのない仲間づくりに取り組んでいる。」（75%←70%）〔下図〕  
 「子どもたちは、あいさつしたり感謝の気持ちを伝えたりしている。」（86%←74%）  
 「子どもは、自分のよいところに気づいている。」（73%←65%）



児童アンケートの結果において、同じく肯定的な回答は下のとおりである。  
 「学校は、楽しい。」（83%←86%）〔下図〕  
 「学校で、友だちと協力して何かに取り組むことは楽しい。」（90%←84%）〔下図〕  
 「学校で、友だちや先生にあいさつをしている。」（78%←77%）  
 「体育の授業や行事で、運動がうまくできるようになった。」（83%←79%）  
 「学校には、こまったことや体のことなどを相談しやすい先生がいる。」（87%←83%）〔下図〕  
 「先生たちは、いじめやこまっていることについていっしょに考えようとしてくれている。」（89%←93%）〔下図〕  
 「自分にはよいところがある。」（64%←67%）





児童一人ひとりと向き合うことを大切にして信頼関係を築いていくことを意識している。また、集団づくりにおいて、個々のよさを活かしながら仲間とのつながりを育めるような活動をつくりあげたいと考えている。また、地域の方、外部講師の方の力をかりて体験活動を積極的に取り入れ、その中から学習へのつながりをもたせることで、より深い学びに発展させていくことをめざし、取り組みを進めている。これらのことを評価いただいているのではないかと感じている。

<新体力テストの結果より>

- 2～6年生において、昨年度の記録からの伸びがみられることから、体育の授業等での活動が、児童の運動能力向上につながっているのではないかと考える。
- 反復横跳び・シャトルランにおいて・立ち幅跳びにおいて、全国平均を大きく下回る学年が多いことから、「敏捷性」「瞬発性」「全身持久力」に課題がみられる。
- 学年が上がるにつれ、長座体前屈の数値が下がり、「柔軟性」が弱くなっている傾向がある。

④ 学校関係者評価（学校協議会等からの提言）

(○) 評価できる点 (●) 課題とする点 (☆) 提言など

- まだコロナ禍が続く中、たくさんの取り組みをされていて評価に値する。人数の少ない学校生活の中で、学校を楽しく感じられることは大変うれしい結果である。その為の先生方努力は大変なものと思える。
- 児童のアンケート結果において「学校が楽しい」と感じていることは嬉しいことだ。
- たくさんのゲストティーチャーと学習していることを評価する。多様な価値観を持った多くの方々と会うことは子どもたちの豊かな心をはぐくむことにつながると考える。
- 児童、保護者とも、学校は楽しい！楽しく学校生活を送っている！仲間ともつながりを育んでいる！等々、評価が高いのは嬉しい。一番大事な事だと思う。
- ゲストティーチャーによる授業はいい効果が期待でき、評価できる。
- ゲストティーチャーによる授業は、多くの人との関わりがあり児童にとって大きな体験や経験につながると思う。
- ゲストティーチャーなど沢山のの方々に関わってもらって、いろんな事を経験している。とても良い事だ。これからも積極的に取り入れていっていただきたい。
- とよの未来科の中で学べる体験活動は子どもたちが好きに出会える1つになるかと思う。
- 子どもが困ったときに相談できたり、子どものことで保護者が相談できたりすることは安心して学校に通えることにつながると思う。この3年徐々に相談しやすくなっているよう

にアンケート結果から見て取れる。今後も肯定的意見が増す取り組みを実施してほしい。

○子どもの「自分には良いところがある」や保護者の「子どもは自分の良いところに気付いている」という項目で肯定的な回答が年々増加している。学校の様々な取り組みの成果だと考える。今後も取り組みを積み上げてほしい。

○児童会、生徒会の活動が活発で子どもたちの主体性の育成に寄与していると感じられる。

- 体力面に関しては、田舎であるが故に車やバスの多様が影響しているのかもしれない。また、子どもの人数が少ない故に、放課後や土日に集まって運動（遊びから集団で行うスポーツなど）する機会が少ないことが影響しているのかもしれない。このことも地域の方と連携をとることで改善策はないのか思案材料でもある。
- 学校が楽しいと感じられない2割弱の子どもたちが、どんなところで楽しくないと感じているのかを追求することで、さらに楽しい学校になっていくと考える。
- 体力が全国平均を下回っているとの事、対策を講じる必要があると思う。
- 体力結果において、学校まで通学できる範囲なのに集団登校しない家庭があるのが残念だ。家庭や児童の体調でできないこともあると思うが、一緒に行動することで違った学びもあるし毎日の積み重ねで体力もアップすると思う。

☆自学自習の取り組みだけでなく日頃から好きなことを教室に掲示したりして友達の好きな事に共感したり新たな発見になったりしてお互いを認めあえたりするのではと思う。

☆先生方に思う存分力を発揮して頂けるよう、外部からのサポートとして何が出来るのか、学校運営協議会は、協議をすることが大事になってくると思われる。

<p>①設定 目標</p>	<p>～つながる～ 保護者・地域・保幼小との連携</p>
<p>②本 年 度 の 取 り 組 み 状 況</p>	<p>&lt;家庭・地域との信頼関係の構築&gt;          *家庭・地域との信頼関係構築のもと、協働で進める教育活動と情報発信による開かれた学校          *持続可能な学びの場を提供する地域とともにあるコミュニティ・スクール</p> <p>&lt;保幼小中との連携&gt;          *東地区保幼小中一貫教育の理念に基づくふたば園との連携と小中一貫教育校の構築          *豊能町に誇りを持ち自己肯定感を高める取り組み ― 保幼小中合同運動会の実現</p> <p>&lt;目標達成のための主な取り組み&gt;</p> <p><u>○PTA主催 人権講演会 (11月18日)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●1～4年児童向け             <ul style="list-style-type: none"> <li>【講師】高橋博樹さん (NPO 法人京都匠塾代表)</li> <li>【テーマ】使う人のことを想うかべてつくろう</li> <li>【内容】ワークショップ「木のマグネットづくり」</li> </ul> </li> <li>●1～9年保護者向け             <ul style="list-style-type: none"> <li>【講師】堀家由妃代さん (佛教大学准教授)</li> <li>【テーマ】インクルーシブ教育ってなに？ ～Z世代の子どもたちと創る多様性とインクルージョン～</li> </ul> </li> </ul> <p><u>○地域の方にご協力いただいた主な取り組み (児童向け講座等) (敬称略)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●お話の会「ひまわり」による読み聞かせ (月2回)             <ul style="list-style-type: none"> <li>【公演者】「ひまわり」のみなさん</li> </ul> </li> <li>●田植え体験 [5年] (5月19日)             <ul style="list-style-type: none"> <li>【講師】木寺さん</li> </ul> </li> <li>●ひょうたんドームづくり [4年] (5月24日)             <ul style="list-style-type: none"> <li>【講師】トヨノ部</li> <li>【内容】4年がひょうたんを育てるためのヒョウタン棚の作成</li> </ul> </li> <li>●ひまわりの種まき [全学年] (6月9日・13日)             <ul style="list-style-type: none"> <li>【協力】トヨノ部</li> <li>【内容】地域貢献活動への参加をとおして「とよの」への理解を深め、誇りをもつことを目的に、全学年の児童が、地域おこし活動でされているひまわり畑の種まきをした。ひまわり畑に貢献したことに對し、町長、教育長より感謝状をいただいた。</li> </ul> </li> <li>●七夕の笹飾りの笹の提供</li> <li>●染め物体験、運動会の衣装づくり [全学年] (9月20日・27日・29日)             <ul style="list-style-type: none"> <li>【講師】大西香菜子さん (染織家)</li> <li>【内容】1・2年 玉ねぎ染め 給食や家庭からの玉ねぎの皮でTシャツを染めた                  3・4年 藍染め トヨノ部が豊能町で育てた藍でハチマキを染めた                  5・6年 ひまわり染め 自分たちで栽培したひまわりでハチマキを染めた</li> </ul> </li> <li>●芸術鑑賞 おととえ座さん公演 [全学年] (10月25日)             <ul style="list-style-type: none"> <li>【公演者】おととえ座</li> <li>【内容】影絵、音楽、歌やクイズを生演奏とともに披露いただいた。</li> </ul> </li> <li>●焼いも [1年] (11月7日)             <ul style="list-style-type: none"> <li>【協力】学校サポーター</li> <li>【内容】粃殻を使った焼き芋を実施。学校サポーターさんに協力いただき、自分たちで</li> </ul> </li> </ul>

植えて、育て、掘りおこしたサツマイモを焼いもにいただいた。

- 納豆のラベルづくりに挑戦！〔3年〕（11月15日、2月1日から販売）  
【講師】山口宗太郎さん（山口食品）  
【内容】工場見学をし、納豆のラベルづくりに挑戦させていただいた。
- 科学実験教室〔5・6年〕（11月17日）  
【講師】夢LABO・豊能科学工作教室のみなさん  
【内容】5・6年生が4グループに分かれ、「磁石のはたらき…モーターをつくろう」「ヨウ素溶液の不思議」「食うものと食われるものの競走」「♪この石 なんの石 気になる石ですから♪」の4つのコーナーを順番に回り、科学について学んだ。
- しめ縄づくり〔5年〕（12月7日）  
【講師】地域の方、トヨノ部  
【内容】児童が育てたもち米の稲藁を使ってしめ縄づくりを実施。しめ縄の由来を学び、しめ縄をない、東能勢校区でとれた自然の葉や実を使って飾り付けを行った。
- 味噌づくり〔4年〕（1月24日）  
【講師】切畑夢工房  
【内容】児童が育てた大豆を使い、味噌づくりに挑戦します。1年寝かせた味噌を使い5年の調理実習で味噌汁を作る予定。
- つながれとよの大作戦（染色したハンカチ販売）〔2年〕（2月3日染色、2月10日販売）  
【講師】大西香菜子さん（染織家）  
【内容】子どもたちの「まちを盛り上げたい！」との思いから始まった企画で、地域のお店4店舗のお店にちなんだ廃材を再利用して染色を行い、ハンカチを作り、豊能町をPRするためハンカチを販売した。  
【協力店舗（順不同）】「EMMA COFFEE」「JOZU+」「だいやす」「BIKER'S in TRUST」
- 木育〔5年〕（2月24日）  
【講師】加羽英吾さん（大工）  
【内容】社会科の「森と生活」の授業の一環として、豊能町の木の種類、大工のお仕事、山に放棄されたゴミなどの環境問題や土砂災害などについて伺った。
- 食育〔6年〕（2月28日）  
【講師】山上忠彦さん（オーベルジュオーナー、猟師）  
【内容】シカやイノシシが農作物に与える影響やその被害から作物を守るために活動されている猟師のお仕事について、また、いただくことへの感謝の気持ちを食育につなげてお話いただきました。

#### ○地域の方にご協力いただいた取り組み（環境整備）

- 学校サポーター「花植え隊」による花壇整備（不定期）
- PTAによるプール周辺の環境整備（5月29日）
- 運動場の環境整備「草刈り DAY」（6月25日、8月27日）

#### ○情報発信の充実

学校だよりを小中で統合し、小中の活動を見やすくするよう取り組んだ。  
これまでの情報発信に加え、東能勢小中学校のブログ、インスタグラム、フェイスブックによる日々の活動の発信を行った。また、SE（スクールエンパワーメント）通信を月1回程度の頻度で発行を行った。

#### ○わくわく KID' S

- わくわく 放課後  
地域の方が、放課後に学校の施設を活用して子どもたちの居場所を確保し、異学年で楽しい時間を過ごし、宿題を中心とした学習活動と校庭開放を実施した。
- わくわくイベント  
今年度、おおさか元気広場の企業・団体による活動プログラムの一環で出前プログラムを活用し、REDEEの方におこしいただき LEGOを活用したプログラミング体験の講座を2回（7月、9月）実施した。

●わくわくナイト

5・6年生を対象に夏休みの夕方から、東能勢小学校校舎を使って、学校探検、月の観察、スタンプラリーや和太鼓チーム「爽風（かぜ）」による太鼓演奏の鑑賞などを行った。保護者の方、地域の方の協力をえて、実施することができた。

○小中学校合同運動会

今年度初めて東能勢小中学校合同運動会を中学校の運動場で開催した。また、ふたば園の園児向けのプログラムを設け、運動会に参加してもらい、保幼小中の連携を図った。

○小中一貫校研究指定 教職員研修

●小中合同研修（8月3日）

【講師】山口偉一さん（関西福祉大学教授）

●公開授業、小中合同研修（11月25日）

【公開授業】 6年 英語 河崎亮太

【講師】山口偉一さん（関西福祉大学教授）

●小中合同研修（12月26日）

<学校教育自己診断の結果より>

※（今年度←昨年度の肯定的な回答の数値）

肯定的な回答：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値

※構成比は端数処理の都合上、合計は必ずしも100%とはなりません

※令和4年度から「分からない」という選択肢をなくしています

保護者アンケートの結果において、特に学力向上に関わる項目について肯定的な回答（は下のとおりである。

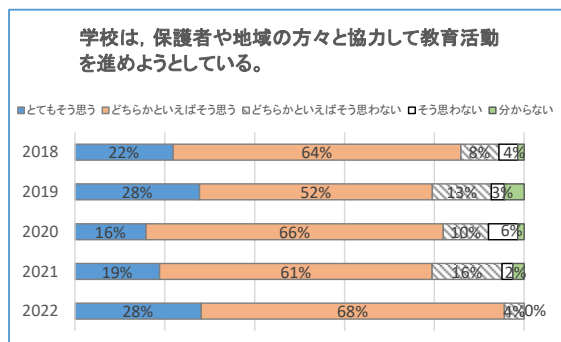
「学校は、保護者や地域の方々と協力して教育活動を進めようとしている。」（96%←80%）

〔下図〕

「小中一貫教育校になって、よさを感じる。」（50%〔新規項目〕）

「1～9年生と一緒に学校生活を送ることや行事を行うことは、子どもたちの成長につながっている。」（73%〔新規項目〕）

「【5・6年生の保護者のみ回答】 5・6年生が教科担任制になったことは、学力向上につながっている。」（81%〔新規項目〕）



保護者や地域の方に協力いただき様々な取り組みを進めようとしている姿を評価いただきとてもありがたいと感じている。

豊能町では、「とよの未来科」の取り組みを進めている。「とよの未来科」では、探究的な見方・考え方を働かせ、具体的な活動や体験、横断的・総合的な学習を行うことを通して、生活の場である身近な地域「とよの」への理解を深め、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えるための資質・能力の育成をめざしている。また、「とよの」に学ぶ、「とよの」を学ぶとし、「とよの」の教育資源を活用しながら学習し、様々な人々と触れ合う機会や体験を重視した活動を通して、「とよの」と自分に対する自信と誇りの育成をめざしている。

東能勢小学校では、「とよの未来科～東能勢 style～」として、東能勢小学校校区の人材・もの・文化などの豊富な資源を最大限に活かし、子どもたちが体験活動をとおして学びを深めることができる取り組みを推進していく。

③学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容



「小中一貫教育校になって、よさを感じる。」の質問について、理由とのクロス集計を行った。また、中学校校舎で活動を行っている5・6年の保護者のみの一覧も作成した。

小中一貫教育校になって、よさを感じる。		そのように感じたのはどのような点ですか。(複数回答あり)				
		学習面	生活面	子どもどうしの交流	その他	無回答
とてもそう思う	12%	23%	46%	23%	8%	0%
どちらかといえばそう思う	38%	17%	24%	43%	11%	4%
どちらかといえばそう思わない	35%	10%	26%	31%	26%	7%
そう思わない	15%	17%	11%	28%	44%	0%
合計	100%	15%	25%	34%	21%	4%

【5・6年保護者】 小中一貫教育校になって、よさを感じる。		そのように感じたのはどのような点ですか。(複数回答あり)				
		学習面	生活面	子どもどうしの交流	その他	無回答
とてもそう思う	15%	50%	33%	0%	17%	0%
どちらかといえばそう思う	45%	16%	32%	42%	0%	11%
どちらかといえばそう思わない	28%	23%	31%	23%	23%	0%
そう思わない	13%	17%	17%	17%	50%	0%
合計	100%	23%	30%	27%	16%	5%

「全体として小中一貫教育校になってよさを感じる」に対する全体の肯定的な回答は40%で、5・6年の保護者は60%である。中学校校舎で学習を進めている5・6年の保護者の方が肯定的な回答が高い。また、5・6年の保護者の「とてもそう思う」を選択した理由としては50%が学習面を評価いただいている。「そう思わない」を選択した理由は「その他」が50%で「小学生にあった設備の不足を感じる」「小学校から中学校へという人生の節目を感じない」などの意見があった。小中一貫教育校になった強みを発信していくとともに、改善すべき点については具体的な検討を順次進めていく。

児童アンケートの結果において、同じく肯定的な回答は下のとおりである。

「地いきの人たちは、学校のことにいろいろ協力してくれている。」(93%←91%)

「【3・4年生のみ回答】運動会などの行事や委員会活動のなかで、下級生の目標やお手本になることを意識しましたか。」(83% [新規項目])

「運動会などの行事や児童生徒会活動の中で、上級生を目標にしたりお手本にしたりしましたか。」(73% [新規項目])

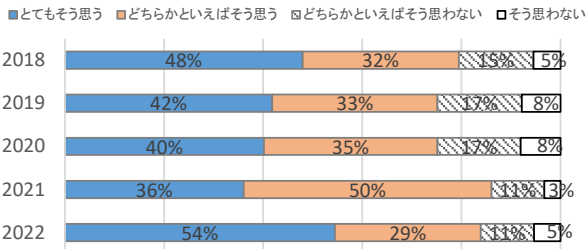
「【5・6年生のみ回答】授業などで、小学校の先生だけでなく、中学校の先生など多くの先生が関わってくださることはよいことだと思いますか。」(78% [新規項目])

「【5・6年生のみ回答】小学生と中学生と一緒に活動することはよいことだと思いますか。」

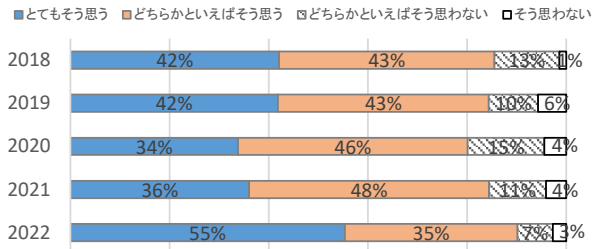
	<p>(68%〔新規項目〕)</p> <p>地域の方が学校への協力をいただいていることを児童も認識をしているが、さらに感謝の気持ちを持ち、気持ちをどのような形で表現できるかななどを主体的に考えることができるように取り組んでいきたい。そのことで、地域の方の協力をより感じる事ができるようになるのではないかと考える。さらに発展して、自分たちにとっての社会である学校の中で自分たちにはどのようなことができるのか考える機会を創出していきたい。</p>
<p>④ 学校関係者評価（学校協議会等からの提言）</p>	<p>(○) 評価できる点 (●) 課題とする点 (☆) 提言など</p> <p>○自己診断結果からもわかるが、学校が多く地域、保護者の方々と共に子どもたちの成長にかかわれたことは評価できる。</p> <p>○学校は保護者や地域の方々と協力して教育活動を進めようとしている。96%という高い評価を得ているのが素晴らしい！</p> <p>○地域との各種連携はよくとれており、評価できる。</p> <p>○合同運動会は、成功と思われ、評価できる。</p> <p>○分離型一貫校が始まり、学校・保護者・地域の力が結集して合同運動会が行われ、園児・児童・生徒が楽しめたと思う。</p> <p>○とよの未来科の取り組みについて、子どもたちが地域のために自分たちに何かできることがないかを考え取り組みを始めていることを知り、嬉しくてワクワクしている。「つなぐれとよの大作戦」、ハンカチ作り、納豆パッケージ作成など、これからも期待している。手伝えることがあれば、手伝うので声かけてほしい。</p> <p>○地域とのつながりは小さい学校ならではの深まりができるように思う。色んな人に出逢い色んな仕事を体験することが子どもたちの「ふっ」と息抜きになっていたらと思う。</p> <p>●前期・中期・後期と各学年の変わり目に、成長に自覚を持つためにもイベントが必要と思う。</p> <p>●中期での集団としての7年生のリーダー性をどう持たせていくのか研究していく必要があると考える。</p> <p>☆今年度の焦点としては、一貫校への先駆けとしてどのような影響を与えているかだと思う。5・6年生と1～4年生の保護者との間で意見がわかれていることも大変参考になった。東地区だけの特別な施行について現場の先生方には大変ご苦労なことだと思うが、実践しながら令和8年への課題を解決していくチャンスだと思うので、一緒に取り組む事案だと思った。これまで、小学校、中学校が分かれているが故の独自性があった。それが学校運営においてうまくいっているものは残すべきだし、うまくいっていないことは一貫の良さを取り入れていくべきだと思う。</p> <p>☆小中一貫校となって1年目。保護者の評価は5～6割が肯定的だが、今後、改善すべき点を明らかにし、さらに肯定的意見が増えるよう取り組んでほしい。</p> <p>☆3・4年向けのアンケートで下級生の目標になろうと意識している児童が8割以上いることは前期のみの校舎で過ごしているからなのか。1年生～9年生までと一緒に生活していくようになった時、同じように3・4年生が思えるような仕組みを想像していく必要があるのではないかと。</p> <p>☆小中一貫校になって「良さを感じる」「そうは思わない」が二分している。始まったばかりなのでこの状況を理解できる。これから良さを発信していけばいい。</p> <p>☆保幼との連携(0歳～10歳)情報の共有丁寧な引き継ぎを望む。</p> <p>☆報告書にもあがっている運動会に関していえば、周囲の保護者に何人かに聞いてみたが、平日開催でいいのではないかと意見が多かった。今の社会では、有給休暇を使うことは権利として確立しており、おそらく保護者の平日見学に関してはハードルが低いと予想される。生徒が全員参加できることの方が意味がある。</p>

# 学校教育自己診断【児童】 一覧

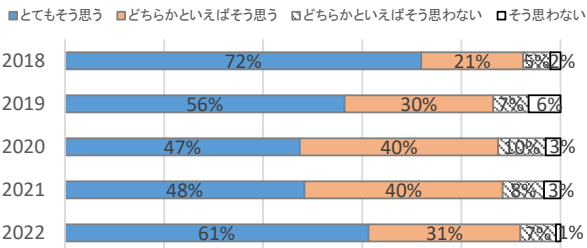
## 学校は、楽しい。



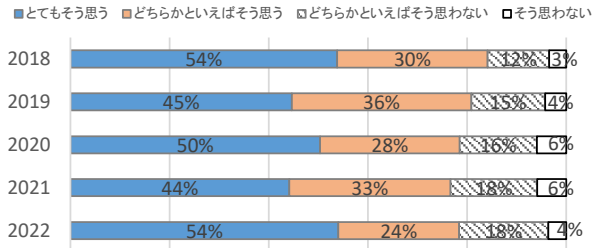
## 学校で、友だちと協力して何かに取り組むことは楽しい。



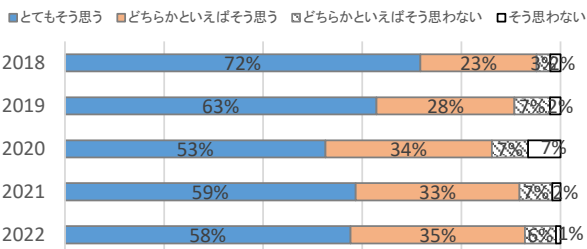
## 先生は、話し合ったり決めたりするとき、子どもたちの意見や気持ちを聞いてくれる。



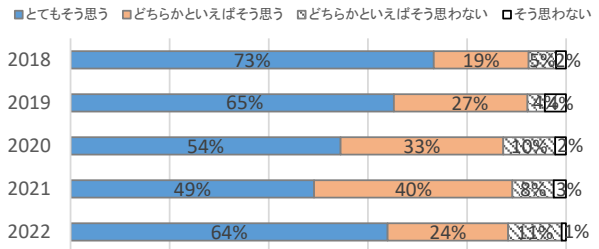
## 学校で、友だちや先生にあいさつをしている。



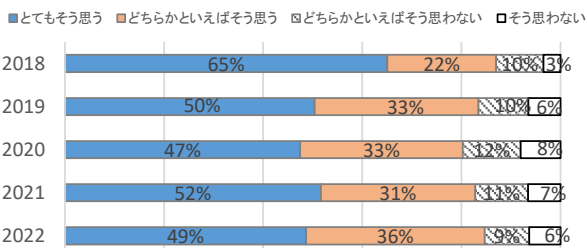
## 地いきの人たちは、学校のことにいろいろ協力してくれている。



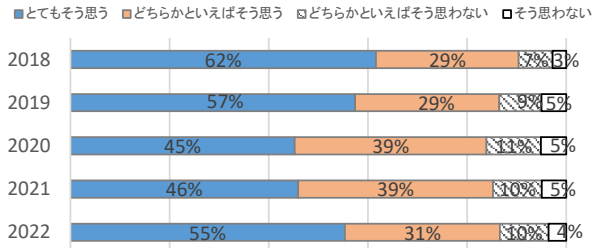
## 学校生活の安全に、先生たちは気を付けている。



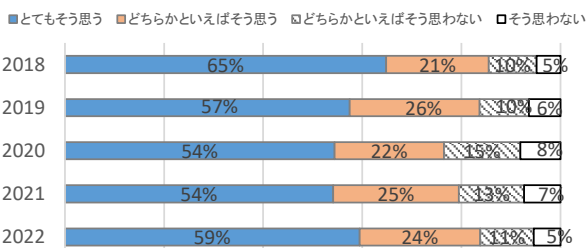
## 算数の授業は、よくわかる。



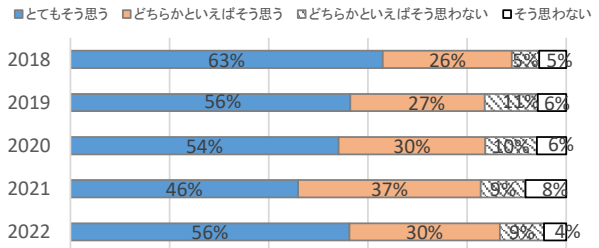
## 国語の授業は、よくわかる。



## 体育の授業や行事で、運動がうまくなってきた。

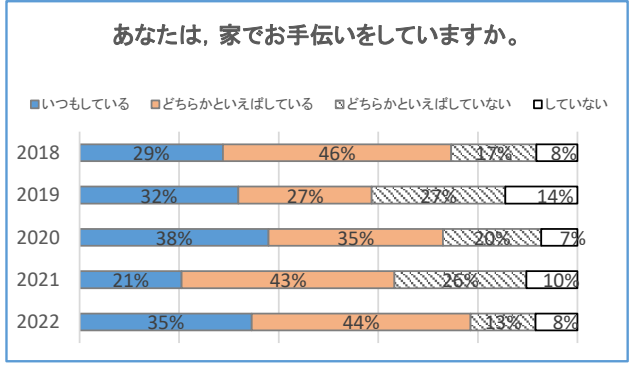
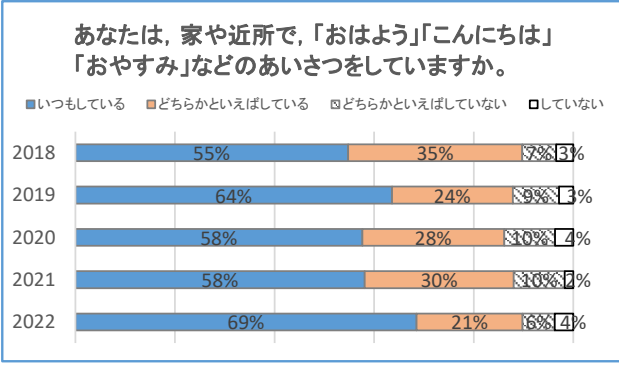
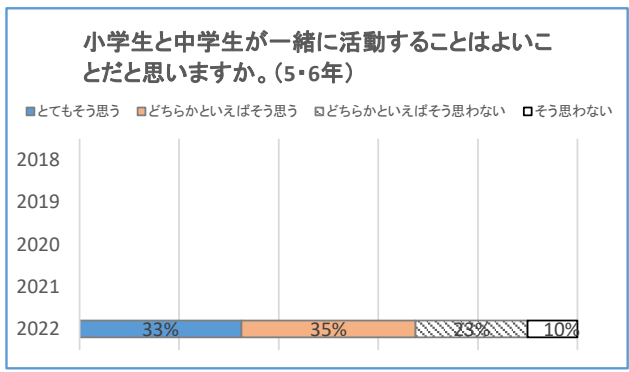
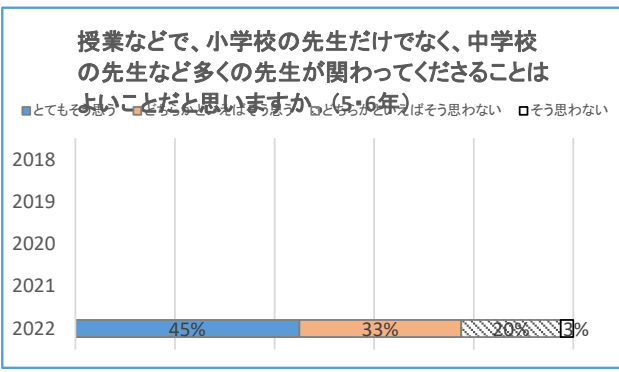
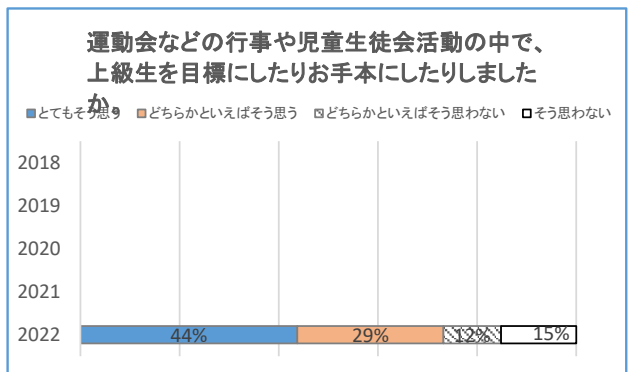
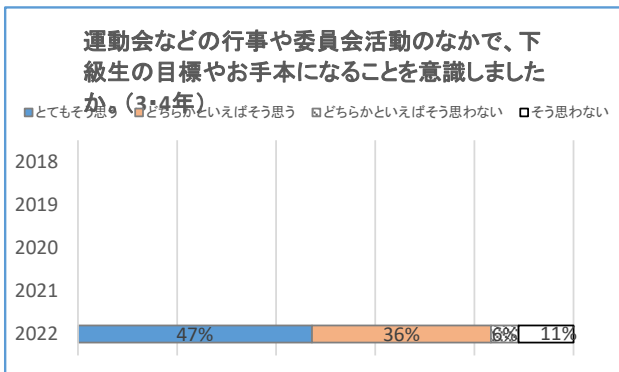
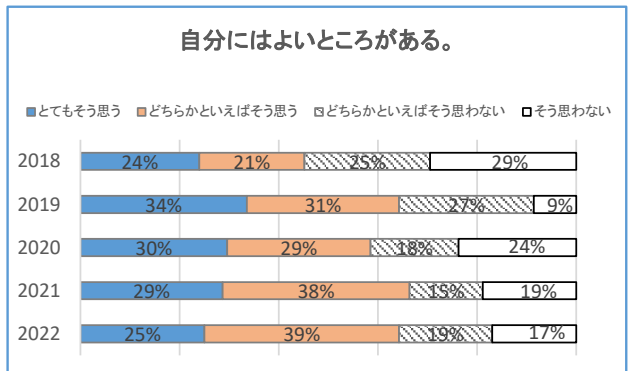
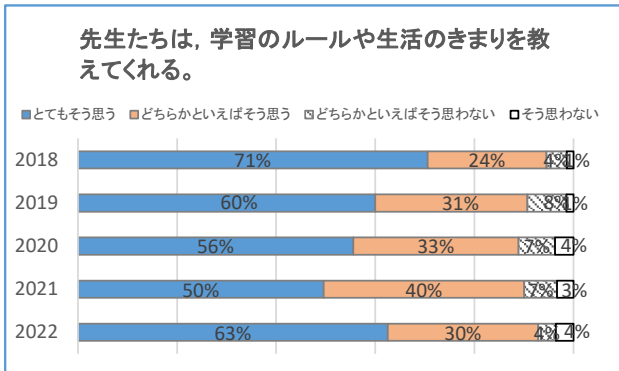
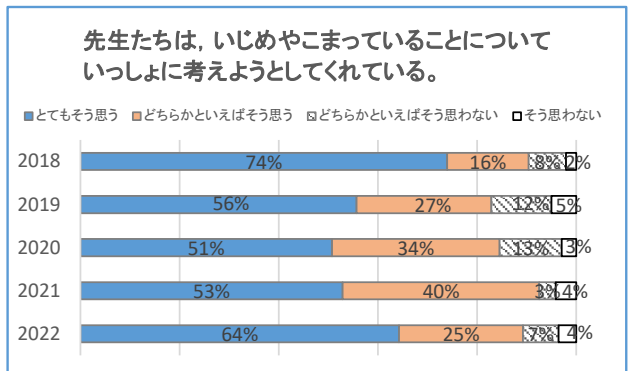
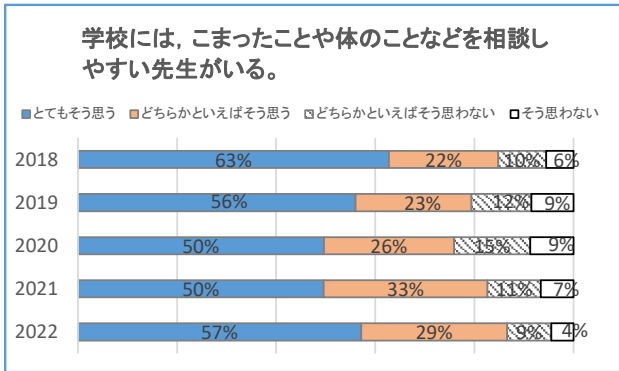


## 通知表(あゆみ)で、自分のがんばりがよくわかる。



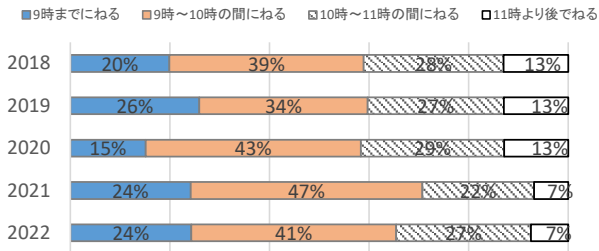


# 学校教育自己診断【児童】 一覧

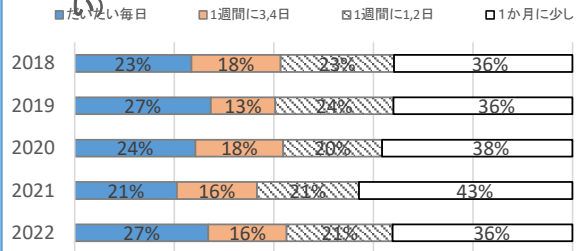


# 学校教育自己診断【児童】 一覧

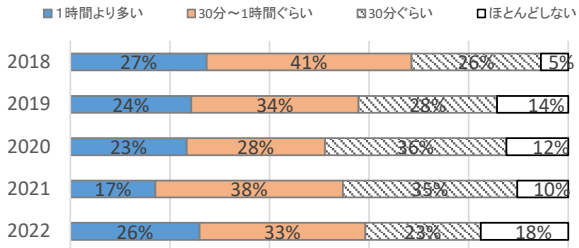
## あなたは、家で何時ごろねていますか。



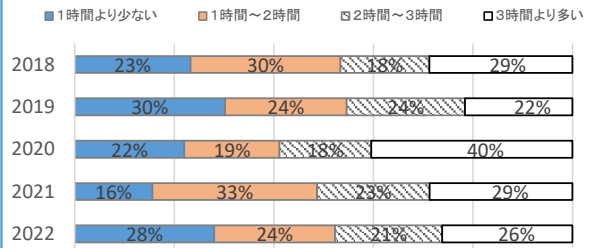
## あなたは、家でどのくらいの割合で本を読んでいますか。(本読みのしゅくだいやマンガは入れない)



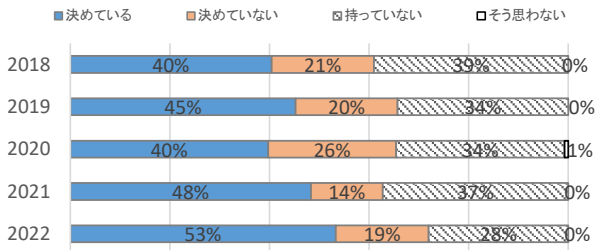
## あなたは、家で毎日どのくらい勉強をしていますか。(宿題は入れる。じゅくや習い事は入れない)



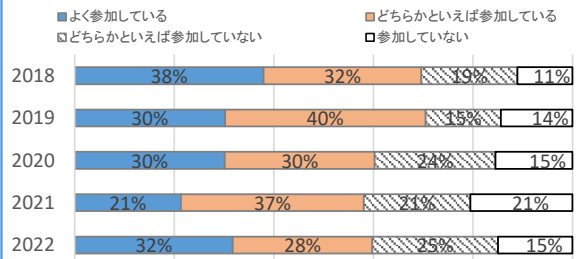
## あなたは、家で毎日テレビ(パソコンやゲームも入れて)をどのくらい見えていますか。



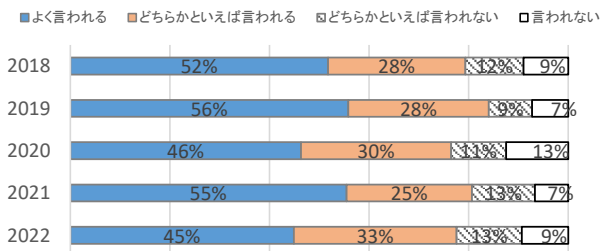
## あなたは、家の人と携帯電話やスマートフォンの使い方のルールを決めていますか。



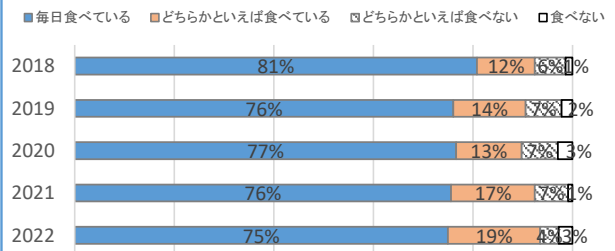
## あなたは、地いきの活動に参加していますか。



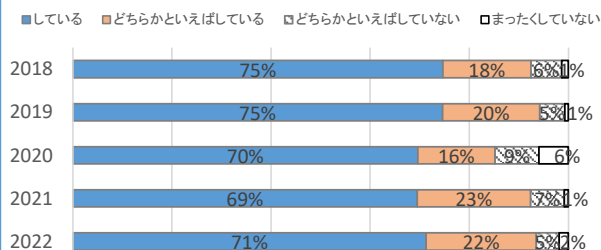
## あなたは、近所で遊ぶときや登下校のとき、安全に気をつけるように家庭で言われていますか。



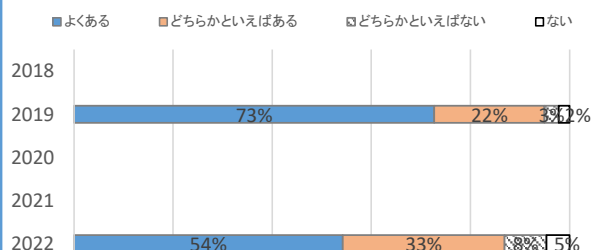
## あなたは、朝ごはんを毎日食べていますか。

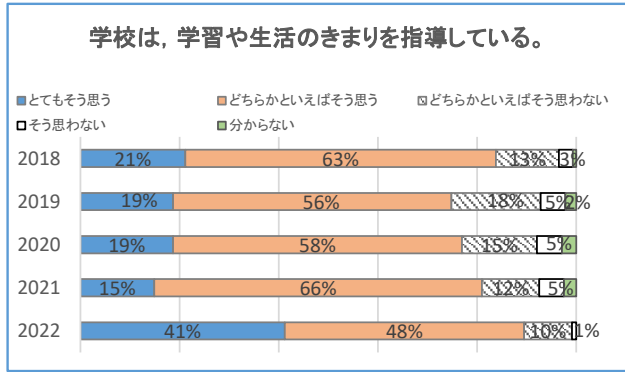
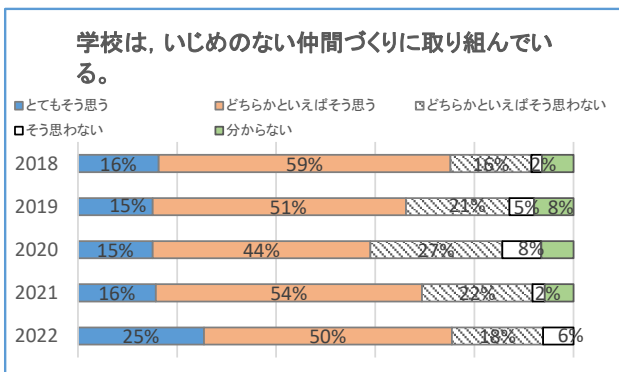
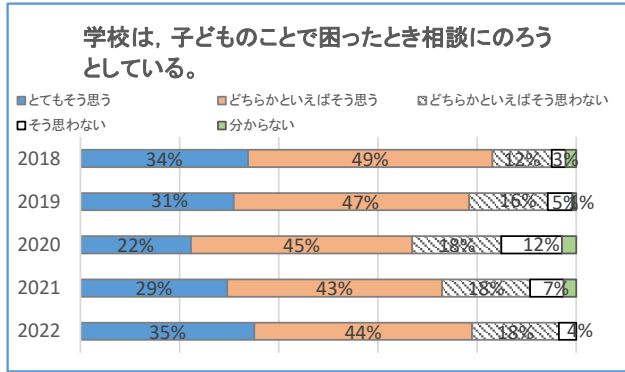
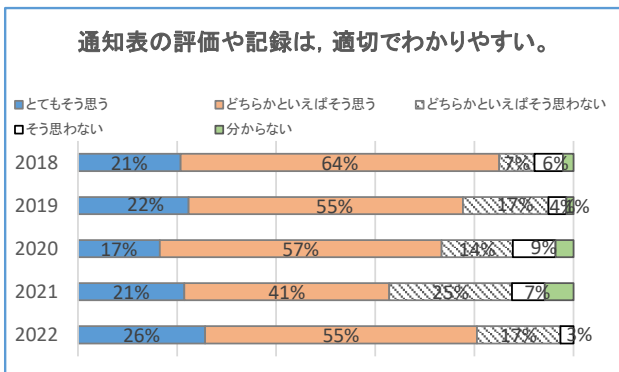
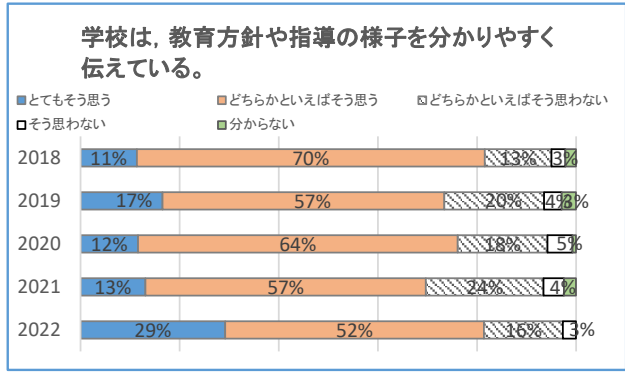
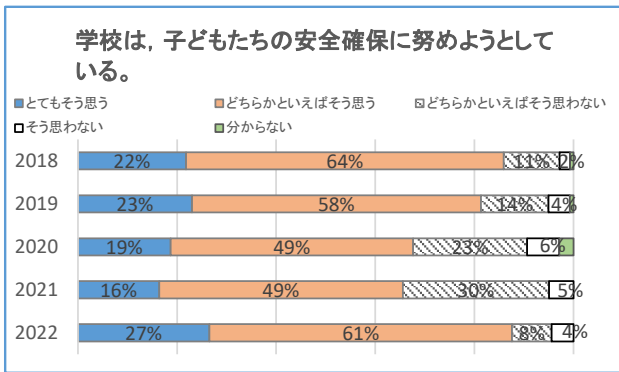
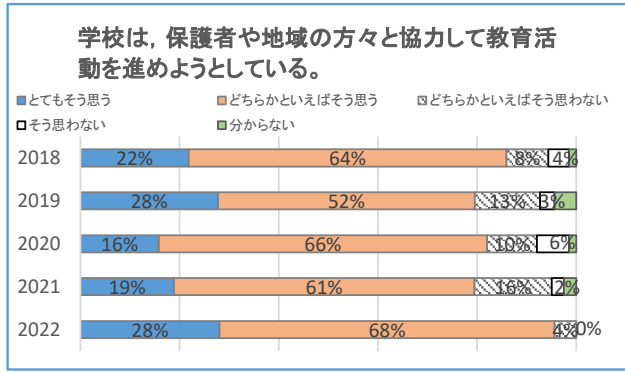
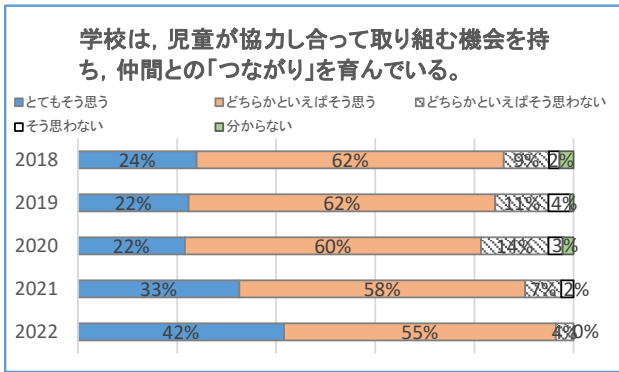
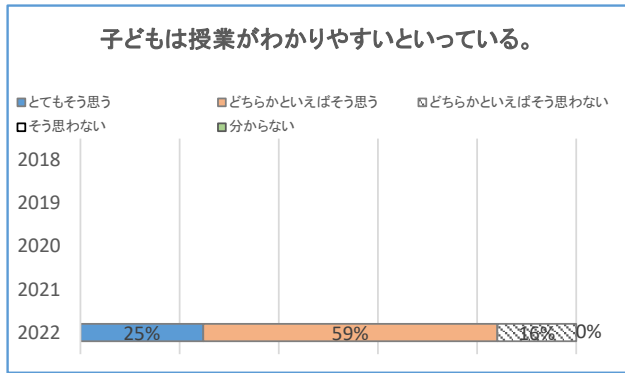
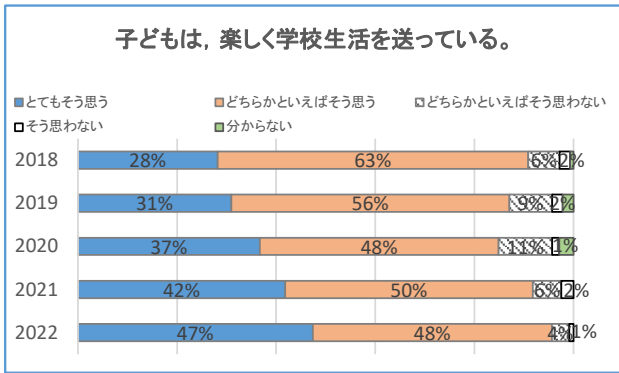


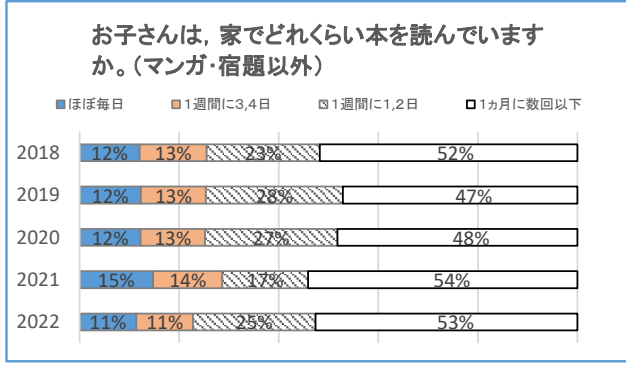
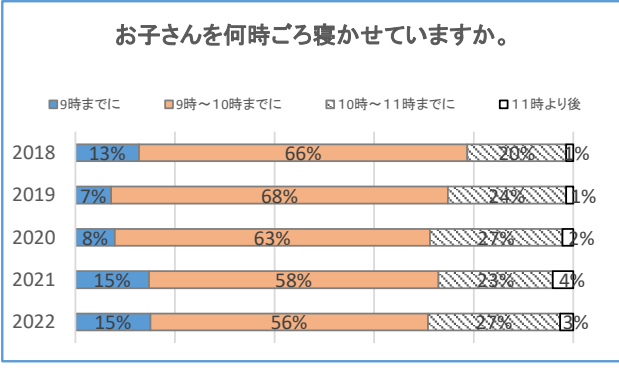
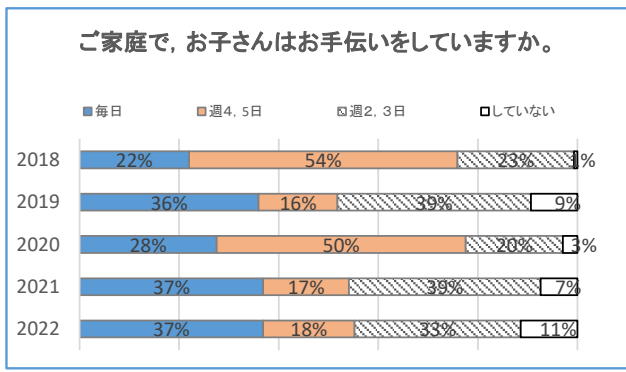
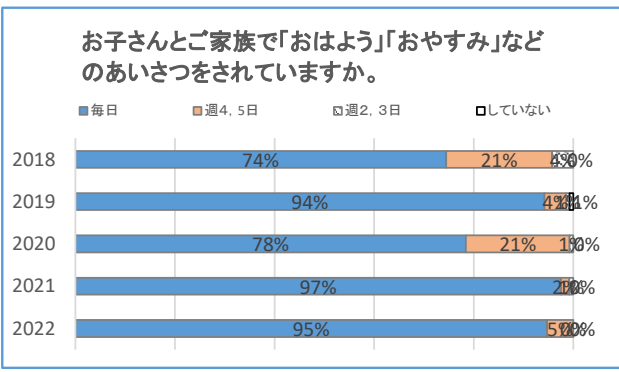
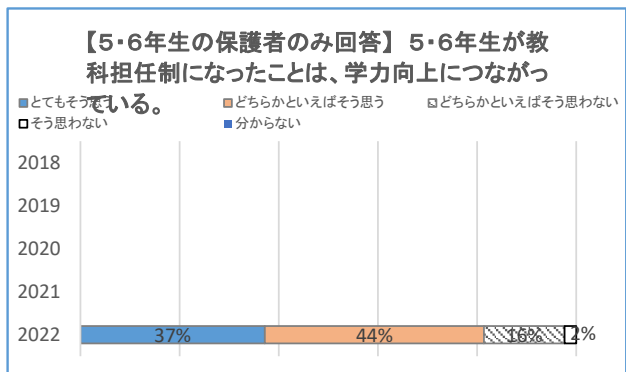
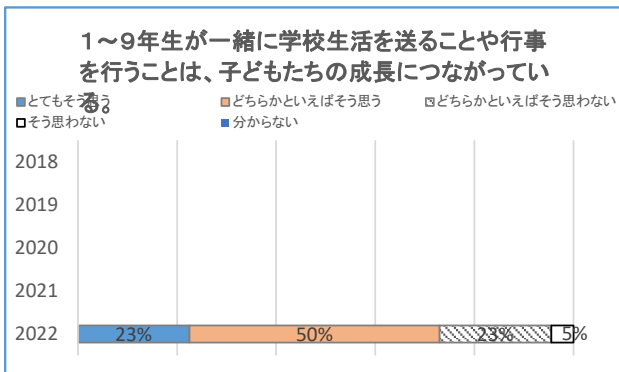
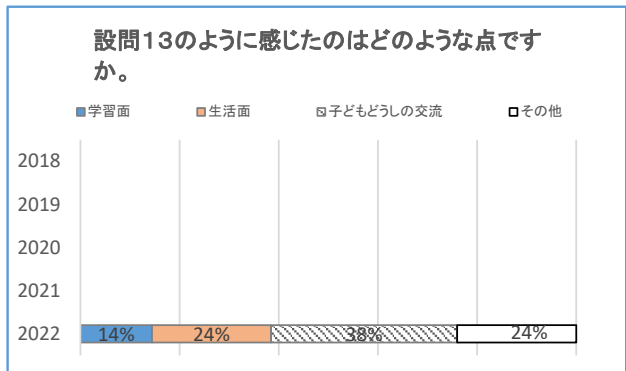
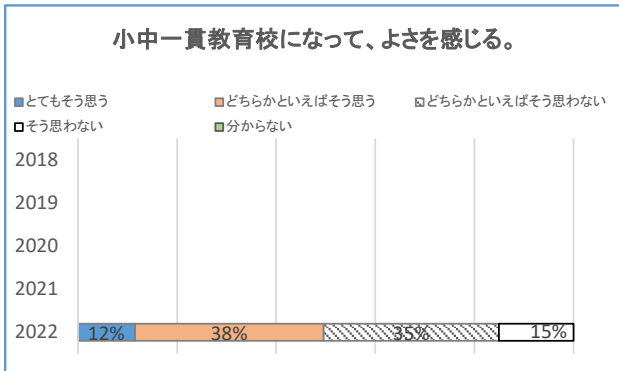
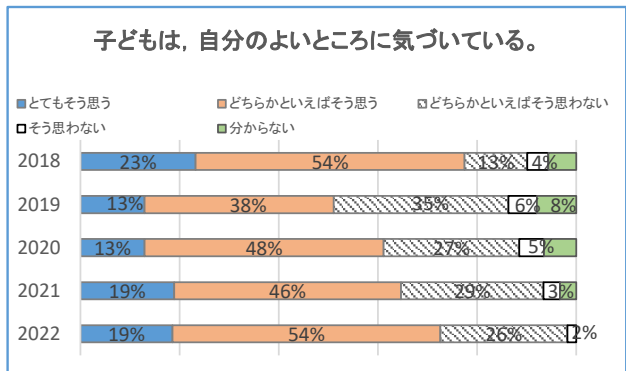
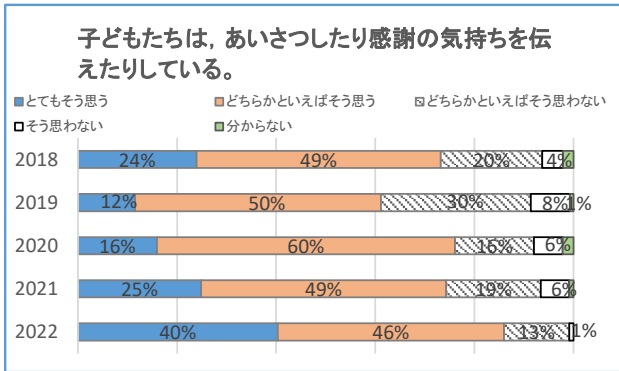
## あなたは、家の人とよく話をしますか。

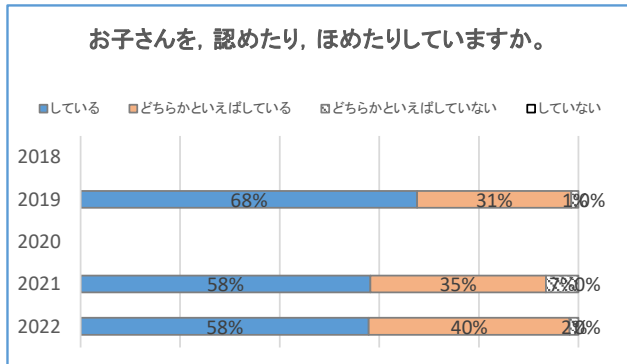
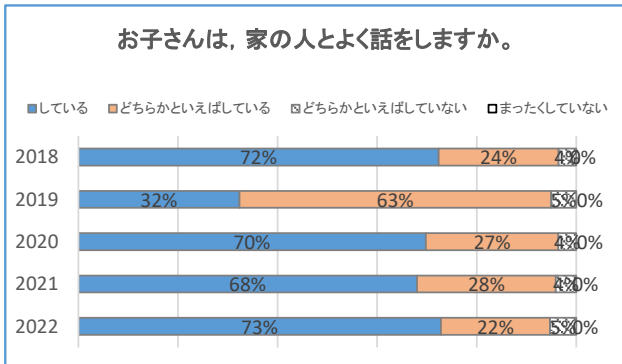
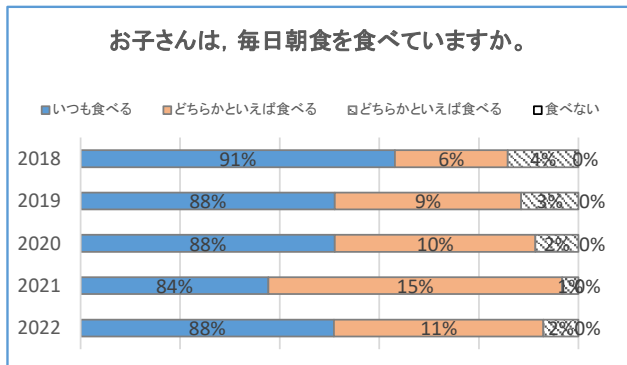
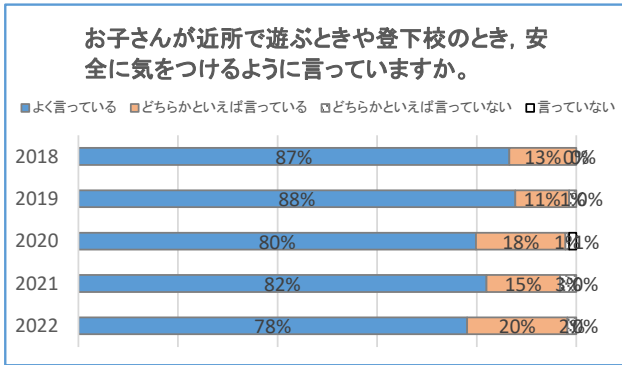
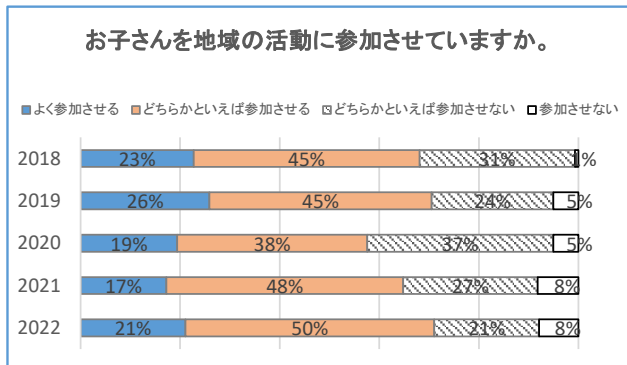
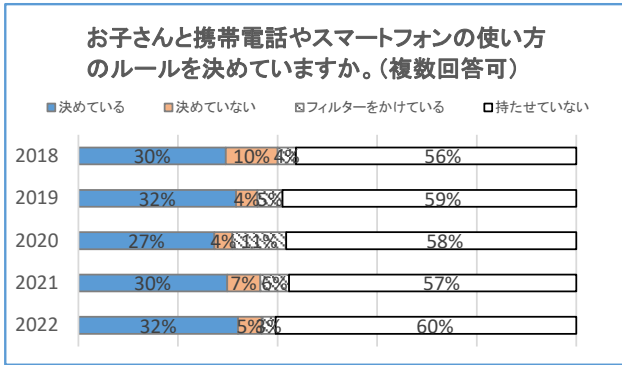
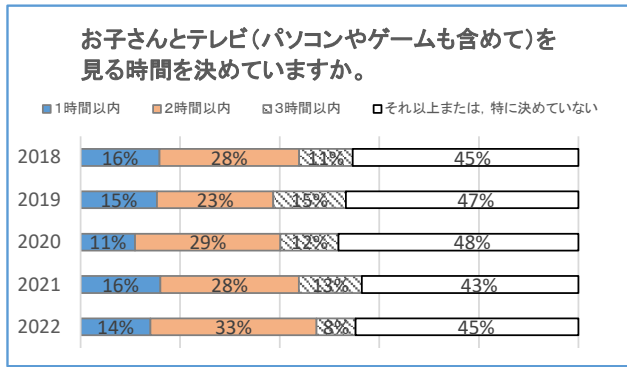
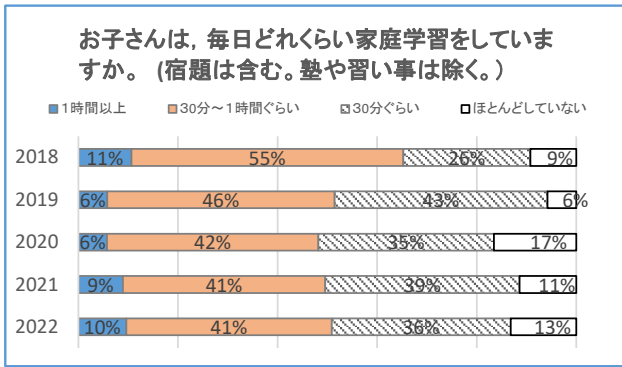


## あなたは、家でほめられることがありますか。

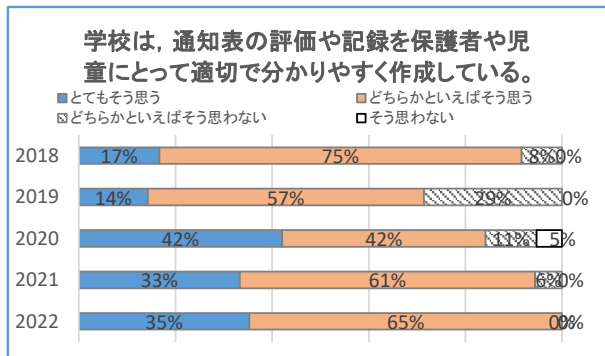
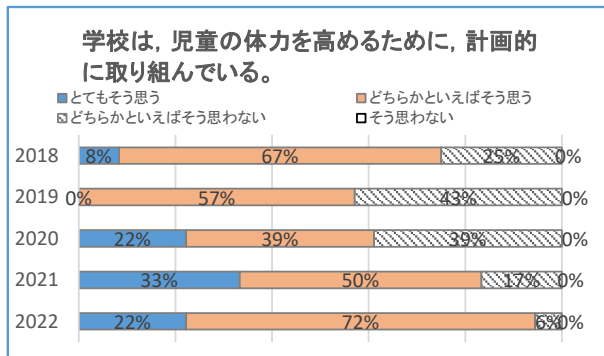
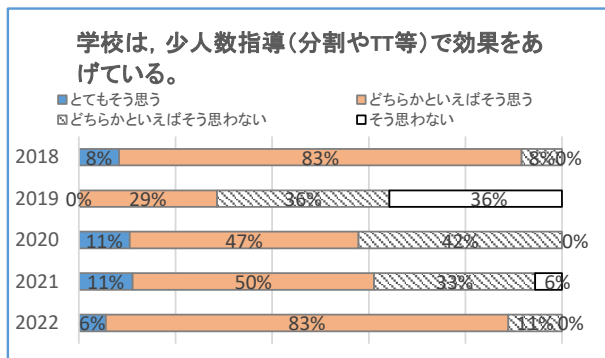
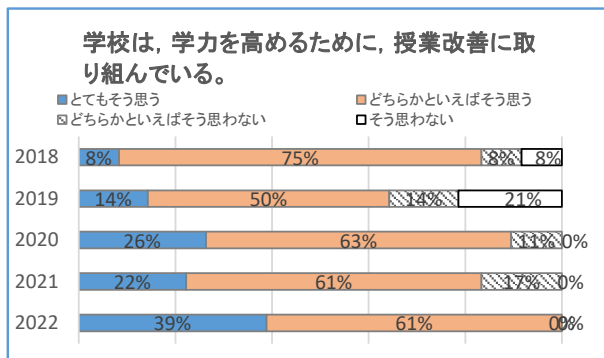
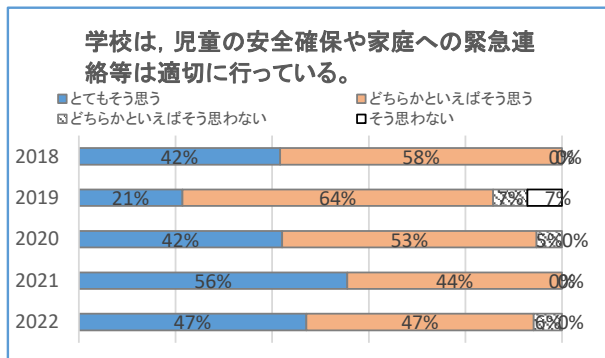
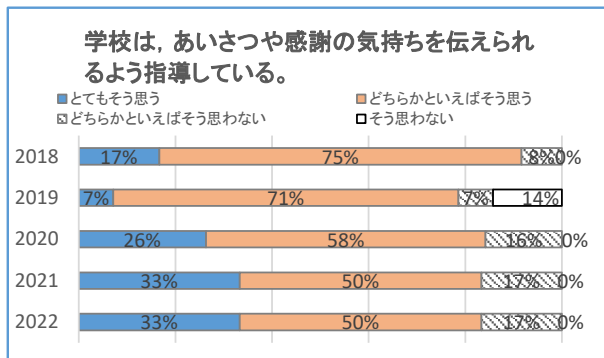
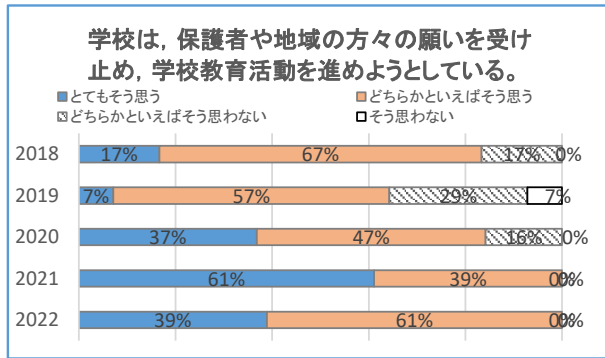
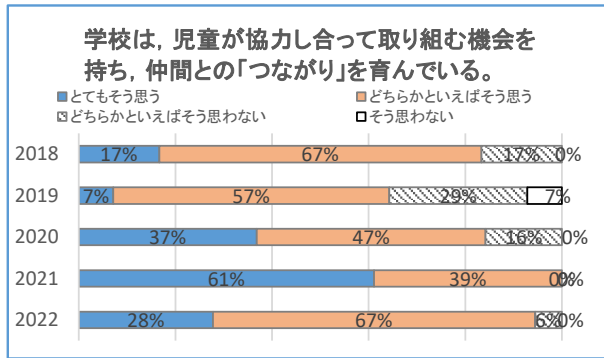
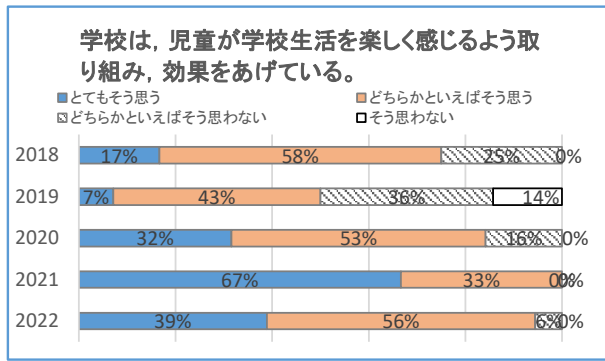
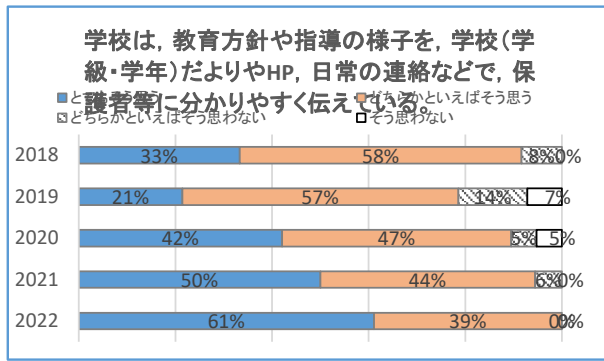




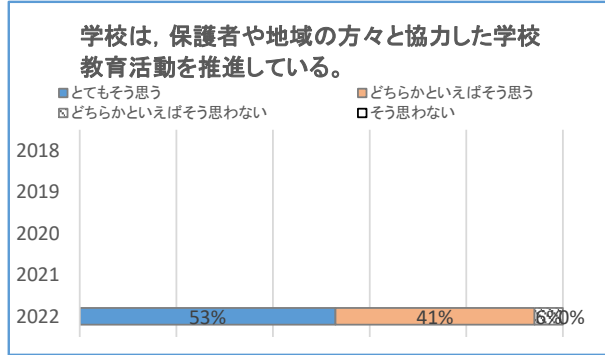
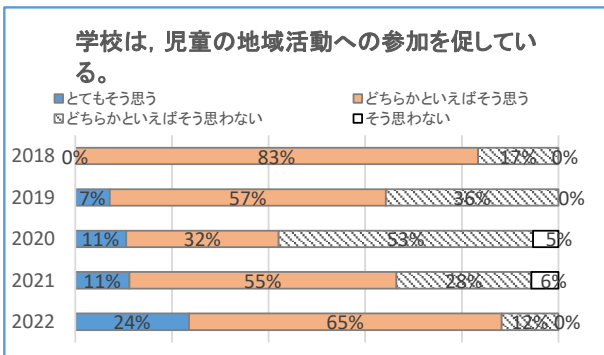
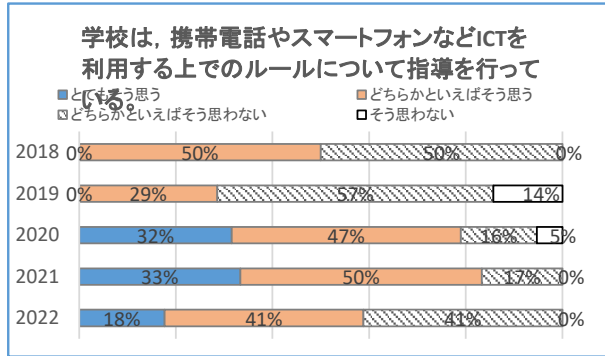
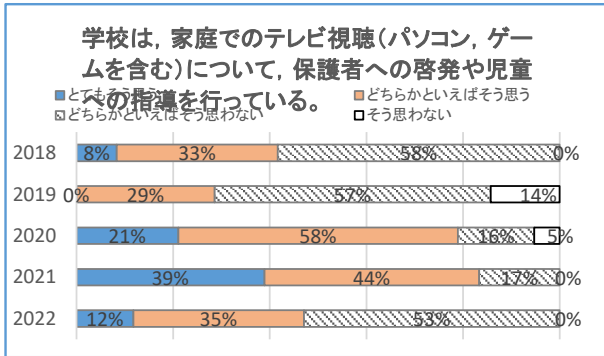
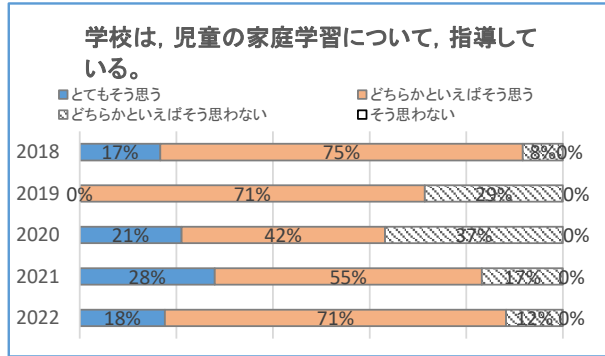
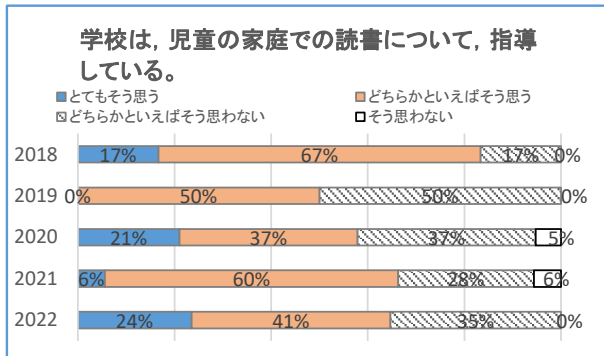
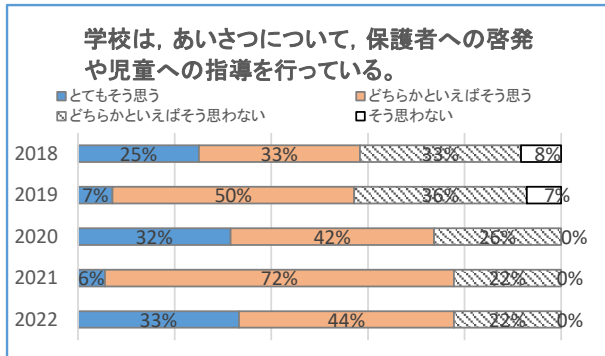
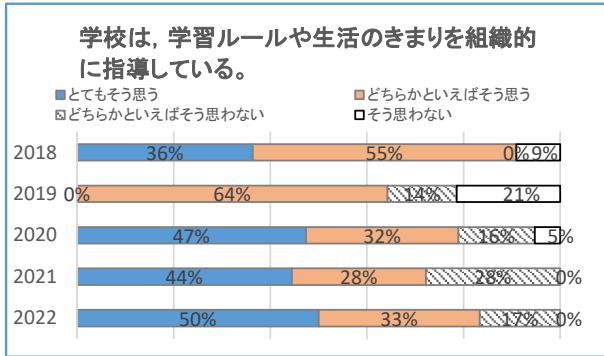
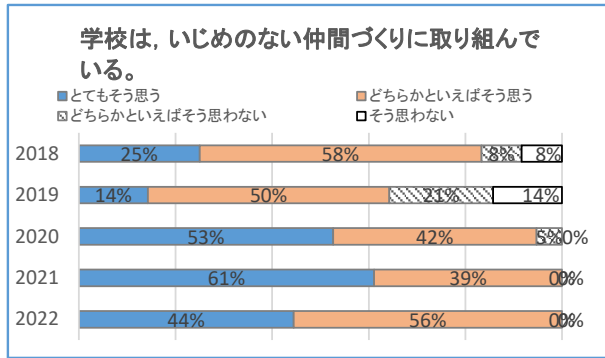
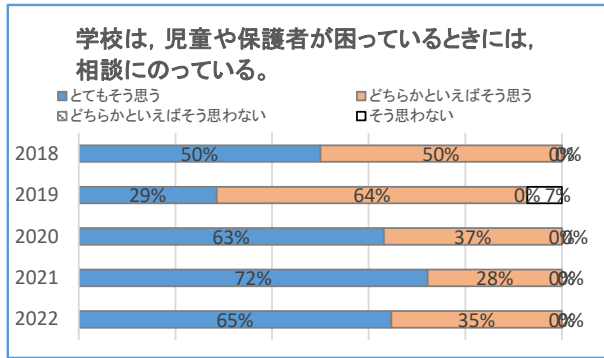




令和4(2022)年度学校教育自己診断 教職員用 アンケート結果一覧



令和4(2022)年度学校教育自己診断 教職員用 アンケート結果一覧



令和4(2022)年度学校教育自己診断 教職員用 アンケート結果一覧

